

6 階東病棟に入院し経鼻的挿入チューブを留置された消化器疾患患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在看護部では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた情報を利用させていただきます。

ご自身の情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用を停止することができます。ただし、すでに研究結果の分析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

消化器疾患患者の経鼻的挿入チューブの自己抜去に至る要因分析

●研究の目的

6 階東病棟は、消化器疾患患者さんの外科手術や内視鏡治療などを行い、治療の一環として経鼻的挿入チューブを留置することも多いです。経鼻的挿入チューブ留置中は、鼻腔や咽頭の不快感などを伴うため、患者さんが無意識にご自分で抜去されることもあります。看護師は、身体拘束を回避しながらチューブが抜けないように看護ケアを行っていますが、残念ながら患者さんがご自分で抜いたり、思わず抜けてしまったりすることも時々起こります。そこで、この研究では、消化器疾患で 6 階東病棟に入院され、経鼻的挿入チューブが留置され自己抜去に至った患者さんを対象に、通常の診療で得られた情報を収集・自己抜去に至った要因を分析することにより、経鼻的挿入チューブの自己抜去予防につながるより良い看護ケアの示唆を得ることを目的としています。

●対象となる患者さん

2022 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間、6 階東病棟に入院された消化器疾患患者さんで経鼻的挿入チューブが留置され自己抜去に至った患者さん。

●研究予定期間：2024 年 11 月 10 日*から 2025 年 3 月 31 日

※ただし、病院長の許可日以降に開始します

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく情報

- ・年齢、性別
- ・主疾患、既往歴、頭蓋内病変（認知症・脳卒中など）、せん妄、習慣飲酒歴、視覚聴覚障害、不眠、不安やストレス薬剤の処方内容
- ・経鼻的挿入チューブの種類と目的、挿入期間、転棟後自己抜去までの期間
- ・鼻周囲の他のデバイスの有無
- ・臨床検査値、バイタルサイン
- ・自己抜去予防の看護ケア状況
- ・自己抜去の際の患者さんの状況 など

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関

神戸市立医療センター中央市民病院 6階東病棟

研究責任者：師長 花房 由美子（現4階西病棟）

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4330（6階東病棟）

●問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 4階西病棟

担当者：師長 花房 由美子（元6階東病棟・現4階西病棟）

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4338（4階西病棟直通）

2024年11月10日作成 第1.0版